

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月9日

上場会社名 美濃窯業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 5356 URL http://www.mino-ceramic.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 滋俊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理部門担当、
 総務・人事部長 兼 経営企画担当 (氏名) 長谷川 郁夫 TEL 052-551-9221
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,804	14.9	694	75.6	749	69.6	462	60.4
29年3月期第3四半期	6,794	1.8	395	574.3	441	404.4	288	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 683百万円 (62.1%) 29年3月期第3四半期 421百万円 (802.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	47.52	—
29年3月期第3四半期	29.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	15,312	8,563	51.0	786.29
29年3月期	14,247	7,882	50.3	737.76

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 7,812百万円 29年3月期 7,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
30年3月期	—	3.50	—		
30年3月期(予想)				3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	6.9	900	25.2	950	23.0	600	14.4	60.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	12,909,828株	29年3月期	12,909,828株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	2,973,908株	29年3月期	3,196,134株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	9,737,745株	29年3月期3Q	9,715,335株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、北朝鮮情勢や中東における地政学的リスクが依然として払拭できないものの、企業業績は堅調に推移し経常利益は過去最高水準にあり、個人消費も雇用所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調が継続しています。

こうした状況のもと、セメント業界向け耐火物を中心とする耐火物事業は、セメントの国内需要が五輪関連工事や首都圏の再開発工事等の需要に支えられ、昨年度を上回るペースで推移しており、売上高は前年同四半期から増加しました。一方、利益面ではコスト削減や生産性向上等に取り組んでいるものの、中国における環境規制強化に端を発した原料費高騰や原油価格上昇による燃料費高の影響もあり、前年同四半期を下回る結果となりました。

プラント事業については、企業収益の改善を受けて積極的な設備投資が見られる中で、特に半導体関連向け設備が好調となり、採算性向上やコスト削減にも取り組んだ結果、売上高・利益共に前年同四半期を上回る結果となりました。

建材及び舗装用材事業については、前期完工予定工事が今期にずれ込んだことに加え、コスト削減による収益の改善により、売上高・利益共に前年同四半期を大きく上回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高7,804百万円（前年同四半期比14.9%増）、営業利益694百万円（前年同四半期比75.6%増）、経常利益749百万円（前年同四半期比69.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益462百万円（前年同四半期比60.4%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益であります。

(耐火物)

耐火物事業につきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,962百万円（前年同四半期比7.3%増）、セグメント利益は131百万円（前年同四半期比40.8%減）となりました。

(プラント)

プラント事業につきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,003百万円（前年同四半期比17.6%増）、セグメント利益は353百万円（前年同四半期比109.3%増）となりました。

(建材及び舗装用材)

建材及び舗装用材事業につきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,600百万円（前年同四半期比24.5%増）、セグメント利益は80百万円（前年同四半期は3百万円のセグメント損失）となりました。

(不動産賃貸)

不動産事業につきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は189百万円（前年同四半期比8.5%増）、セグメント利益は106百万円（前年同四半期比6.7%増）となりました。

(その他)

主に、外注品等を販売する事業であり、当第3四半期連結累計期間の売上高は48百万円（前年同四半期比152.8%増）、セグメント利益は5百万円（前年同四半期比25.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

流動資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金、有価証券が減少したものの、たな卸資産の増加により全体としては9,390百万円（前連結会計年度末比230百万円増）となりました。固定資産は、土地やのれん、投資有価証券の増加などにより全体としては5,921百万円（前連結会計年度末比834百万円増）となりました。その結果、資産合計では、15,312百万円（前連結会計年度末比1,064百万円増）となりました。

(負債の状況)

流動負債は、未払法人税等が減少したものの、支払手形及び買掛金や電子記録債務の増加などにより、全体としては4,896百万円（前連結会計年度末比397百万円増）となりました。固定負債は、社債の減少などにより、全体としては1,851百万円（前連結会計年度末比14百万円減）となりました。その結果、負債合計では、6,748百万円（前連結会計年度末比383百万円増）となりました。

(純資産の状況)

純資産は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどにより8,563百万円（前連結会計年度末比681百万円増）となり、自己資本比率は51.0%（前連結会計年度末比0.7ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成30年2月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,425,918	1,931,420
受取手形及び売掛金	4,178,248	3,964,064
有価証券	294,042	46,977
たな卸資産	1,921,582	3,194,206
その他	340,912	254,582
貸倒引当金	△757	△595
流動資産合計	9,159,946	9,390,655
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,042,300	2,100,964
その他(純額)	1,421,397	1,666,687
有形固定資産合計	3,463,698	3,767,652
無形固定資産		
のれん	—	161,500
その他	70,294	69,888
無形固定資産合計	70,294	231,388
投資その他の資産		
投資有価証券	1,363,445	1,788,217
その他	206,000	142,283
貸倒引当金	△16,149	△8,000
投資その他の資産合計	1,553,296	1,922,499
固定資産合計	5,087,289	5,921,540
資産合計	14,247,235	15,312,196
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,093,476	1,249,997
電子記録債務	1,243,696	1,600,297
短期借入金	930,000	1,020,000
1年内償還予定の社債	70,000	70,000
未払法人税等	229,869	70,429
賞与引当金	275,500	140,933
役員賞与引当金	750	380
製品保証引当金	26,624	59,019
工事損失引当金	12,375	15,633
その他	616,409	669,722
流動負債合計	4,498,702	4,896,413
固定負債		
社債	820,000	785,000
株式給付引当金	4,143	6,546
役員退職慰労引当金	211,558	199,941
退職給付に係る負債	557,354	533,769
資産除去債務	48,088	43,460
その他	225,153	283,097
固定負債合計	1,866,297	1,851,816
負債合計	6,364,999	6,748,229

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	877,000	877,000
資本剰余金	306,791	343,690
利益剰余金	6,266,229	6,656,433
自己株式	△592,040	△557,269
株主資本合計	6,857,980	7,319,854
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	307,872	491,814
繰延ヘッジ損益	509	807
その他の包括利益累計額合計	308,382	492,621
非支配株主持分	715,873	751,490
純資産合計	7,882,236	8,563,966
負債純資産合計	14,247,235	15,312,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	6,794,984	7,804,232
売上原価	5,232,230	5,746,620
売上総利益	1,562,753	2,057,612
販売費及び一般管理費	1,167,460	1,363,549
営業利益	395,292	694,062
営業外収益		
受取利息	3,792	4,018
受取配当金	36,809	39,432
補助金収入	6,583	—
受取補償金	23	13,586
その他	16,333	10,347
営業外収益合計	63,542	67,385
営業外費用		
支払利息	8,015	7,559
為替差損	2,505	—
リース解約損	2,379	—
その他	4,199	4,517
営業外費用合計	17,100	12,076
経常利益	441,734	749,370
特別利益		
固定資産売却益	249	11,593
資産除去債務戻入益	4,670	4,866
その他	—	527
特別利益合計	4,920	16,987
特別損失		
投資有価証券売却損	2,040	1,521
投資有価証券評価損	—	20,954
災害による損失	10,440	13,621
特別損失合計	12,481	36,097
税金等調整前四半期純利益	434,174	730,260
法人税、住民税及び事業税	120,946	167,211
法人税等調整額	11,985	69,323
法人税等合計	132,932	236,534
四半期純利益	301,241	493,725
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,755	30,954
親会社株主に帰属する四半期純利益	288,486	462,771

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	301,241	493,725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	118,638	189,939
繰延ヘッジ損益	2,020	298
その他の包括利益合計	120,659	190,237
四半期包括利益	421,901	683,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	406,341	647,010
非支配株主に係る四半期包括利益	15,559	36,952

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一般債権の貸倒見積高の算定

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度に算定したものと著しい変化がないとみとめられるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、業績向上への意欲を高めるため、従業員（当社子会社の従業員を含む。以下同じ。）に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託（J-E S O P）」制度（以下、「本制度」という。）を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした従業員に対して当社株式を給付する仕組みであります。従業員に対して給付する株式については、予め設定した信託（以下、「本信託」という。）により将来分も含めて取得し、信託財産として分別管理しております。

(2) 会計処理

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成27年3月26日）を適用し、本制度に関する会計処理といたしましては、本信託の資産及び負債を当社の資産及び負債として貸借対照表上に計上する総額法を採用し、本信託が所有する当社株式を連結貸借対照表の純資産の部において、自己株式として表示しております。

(3) 信託が保有する自社の株式

当第3四半期連結会計期間末日（平成29年12月31日）現在において、本信託が所有する当社株式の帳簿価額は73,556千円、株式数は259,000株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	耐火物	プラント	建材及び 舗装用材	不動産 賃貸	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,761,555	2,553,450	1,286,148	174,748	6,775,902	19,082	6,794,984	—	6,794,984
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	986,032	—	1,420	10,731	998,184	—	998,184	△998,184	—
計	3,747,587	2,553,450	1,287,569	185,479	7,774,086	19,082	7,793,168	△998,184	6,794,984
セグメント利益 又は損失(△)	222,400	169,095	△3,937	99,638	487,196	4,021	491,217	△95,925	395,292

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外注事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△95,925千円は、たな卸資産の調整額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報。

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	耐火物	プラント	建材及び 舗装用材	不動産 賃貸	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,962,339	3,003,168	1,600,911	189,573	7,755,993	48,239	7,804,232	—	7,804,232
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	790,680	—	495	11,317	802,492	—	802,492	△802,492	—
計	3,753,020	3,003,168	1,601,406	200,890	8,558,486	48,239	8,606,725	△802,492	7,804,232
セグメント利益	131,610	353,896	80,000	106,308	671,815	5,042	676,858	17,203	694,062

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外注事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額17,203千円は、たな卸資産の調整額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「耐火物」セグメントにおいて、花王(株)からの事業譲受により、のれんが170,000千円発生しております。